

【ひだかプラン】「令和2年度日高管内教育推進の重点」の具現化

総合的な学習の時間を軸とした教科等横断的な視点を踏まえた教育課程の編成

日高教育局では、各学校の総合的な学習の時間を軸とした教科等横断的な視点を踏まえた教育課程の編成の参考にしていただくため、日高町立富川小学校の組織的・計画的な教育課程の編成の状況を基にし、本資料を作成しました。

各学校の校内研修等において、本資料を活用し、教育課程の改善を図ってください。

令和2年度 日高町立富川小学校 グランドデザイン



ポイント①
本校で育成を目指す資質・能力の明確化

総合的な学習の時間の目標は、その学校の教育目標と直接つながるようにすることが大切です。また、育成を目指す資質・能力を具体化することにより、横断的・総合的な学習を明確にすることができます。

本校が育成を目指す資質・能力

【日高町立富川小学校】

育成すべき資質・能力を明確にした年間指導計画の作成

取組の内容

これまで、「確かな学力向上プラン」において、教科等横断的な視点に立った教育活動を推進し、本校が目指す資質・能力の向上に取り組んできた。今年度は、本校が育成を目指す資質・能力をより具体的に各教科等の単元や題材などの学習内容と関連付けるとともに、身に付けた力を統合的に活用し、現代的な諸課題に対応していくため、教育課程全体を通じて資質・能力を育むようにする。

6年 総合的な学習の時間 年間指導計画

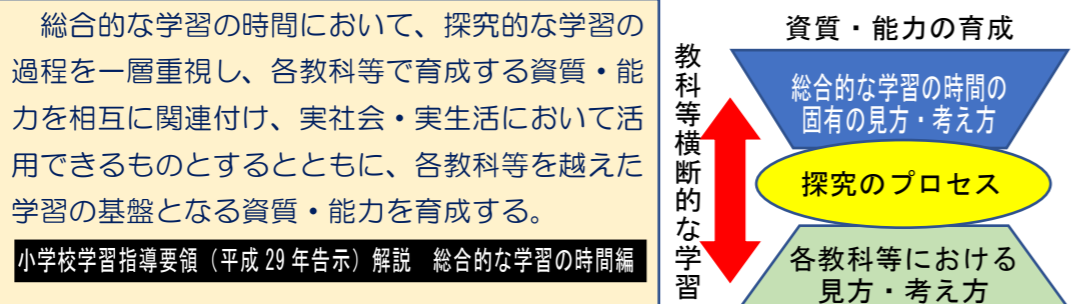
	A. 生かせる知識・使える技能	B. 学びを深める思考力・判断力・表現力	C. 主体的・協働的に学べる意識と態度
総合的な学習の時間の目標	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習能力【A1】 情報活用能力 社会で生きて働く知識・技能【A4】 	<ul style="list-style-type: none"> 問題や課題を発見する力 問題や課題を解決する力【B3】 表現し合える力【B4】 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組む意識と態度【C1】 自己肯定感 よりよい生活や人間関係をめざす意識と態度【C2】 基礎的なコミュニケーション能力 互いのよさを生かし協働する態度 多様な違いを受け入れる意識 学習内容を日常生活で積極的に活用しようとする意識
現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 自身や社会全体の安心・安全や健康の維持・増進に向けて主体的に取り組む力【D1】 郷土の歴史や伝統・文化・産業などへの理解を深め、積極的に地域社会に係わる力【D3】 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活や人間関係をめざす意識と態度 基礎的なコミュニケーション能力 互いのよさを生かし協働する態度 多様な違いを受け入れる意識 学習内容を日常生活で積極的に活用しようとする意識 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化の中で異質性や多様性を受け入れ、他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力【D2】 自然環境や資源の有限性を理解し、持続可能な社会づくりに係わる力【D4】
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月		情報モラル(2)【A3】	基本操作(3)【A3】
11月		自己を見つめる(6)【B4】【C2】	子供の権利条約(10)【D2】
12月			身近な災害(10)【D4】
1月			
2月			
3月			

ポイント②
カリキュラム・マネジメントの充実

教育課程を編成し、実施し、「いつ」「どのように」評価して改善を図るかなど一連のPDCAサイクルを確立することが大切です。

富小思考ツールの活用
順序付ける 比較する
分類する 関連付ける等

教科等横断的な視点を踏まえた教育課程の編成



ポイント③
「考えるための技法」の活用

児童が「考えるための技法」を意識的に使えるようにすることによって、各教科等と総合的な学習の時間の学習を相互に往還できるようにすることが大切です。

ポイント④
校内研修で指導事項の焦点化

校内研修等で、昨年度、作成した年間指導計画を基に、今年度の重点目標に関わる各教科等の指導事項を明確にすることが大切です。

一層の充実に向けて

児童の発達の段階において、「探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であるか」「展開される学習が、横断的・総合的な学習としての性格をもっているか」などについて、校内研修等を行い、共通理解を図りながら教育課程を改善する必要があります。